

たぐさりじんじゃ

田鎖神社のブナ・イヌブナ林^{りん}

- ◇ 指定日 平成22年3月2日
- ◇ 所在地 田鎖
- ◇ 所有者 田鎖神社

北上山地でのブナ・イヌブナ林は希少で、比較的標高の高い^{むろね}室根山（海拔600～791mの斜面）、山田町津軽石源流地帯（海拔300～600m）に分布しています。田鎖神社のブナ・イヌブナ林は神社境内にあり、禁伐地として長期に残されてきたため、海拔90m以下の低地でも群生林を見る事ができます。このブナ林は北上山地沿岸部の原生的な極相林の様相をとどめていることから、学術的に貴重であるとされ「植物群落レッドデータ・ブック」にも掲載されています。

本来、ブナは滑らかな樹皮を持っていますが、田鎖神社に生息するブナには形態は類似するも樹皮が細裂している個体が4個体確認されています。花や果実の形態や遺伝子の分析により、新種のブナであり、細裂する樹皮はこの地域で生じた^{けう}稀有な変異であり、複数個体確認されることから、今後も保護・観察が必要です。



樹皮